

第8回 マルホ・高木皮膚科学振興財団  
高木賞／高木賞臨床研究奨励賞 受賞者の決定について

令和5年10月1日から11月30日の期間で募集いたしました第8回高木賞につきまして、おかげ様で大変多数のご応募をいただきました。誠にありがとうございました。

当財団選考委員会の厳正な審査による選考をもとに、本年3月8日の当財団理事會にて第8回高木賞受賞者が以下のとおり決定されましたので、お知らせいたします。

【高木賞】(助成金額順 五十音順)

氏名 (所属) 研究題名	助成金額
川崎 洋 (理化学研究所 生命医科学研究センター 上級研究員) アトピー性皮膚炎におけるバイオマーカーを活用した精密医療 実現のための診療システム開発研究	500万円
乃村 俊史 (筑波大学 医学医療系皮膚科 教授) 変異SERPINB7の細胞外分泌不全に着目した長島型掌蹠角化症 の病態解明	500万円
石塚 洋典 (大阪大学 皮膚免疫疾患治療学共同研究講座 特任講師) 皮膚免疫の「Niche factor」としてのロリクリン	250万円
猪爪 隆史 (千葉大学大学院 医学研究院皮膚科学 教授) 白斑組織内と腫瘍組織内におけるメラノサイト抗原特異的T細胞 の制御機構の相違の解明	250万円
澤田 雄宇 (産業医科大学 皮膚科学教室 教授) 細菌由来の短鎖脂肪酸を介したレジデントメモリーT細胞を焦点 としたエピジェネティクスによる炎症制御機構の解明	250万円
種瀬 啓士 (東邦大学医療センター 大森病院皮膚科 准教授) 悪性黒色腫細胞およびその腫瘍微小周囲環境の相互作用が腫瘍の 浸潤・転移能獲得に及ぼす影響の解析と原発性悪性黒色腫の転移 予測因子の探索	250万円
中原 剛士 (九州大学大学院 医学研究院皮膚科学分野 教授) アトピー性皮膚炎における細胞外ATPを介した細胞間相互作用の 解析と治療応用	250万円

【高木賞 つづき】

氏名（所属） 研究題名	助成金額
福島 聡（熊本大学大学院 生命科学研究部皮膚病態治療再建学講座教授） 腫瘍微小環境の制御を目指した iPS 細胞由来マクロファージ療法	250 万円
船越 建（慶應義塾大学 医学部皮膚科学教室 准教授） 乳房外 Paget 病 in situ 病変の病態機構の解明と新規治療法開発	250 万円
渡邊 美佳（北海道大学病院 皮膚科 助教） 皮膚疾患の統合的理解における上皮幹細胞記憶の役割	250 万円

【高木賞臨床研究奨励賞】（五十音順）

氏名（所属） 研究題名	助成金額
岩永 聡（長崎大学病院 助教） 弾性線維性仮性黄色腫の病態メカニズム解明に向けた mRNA シークエンス解析研究	50 万円
木下 真直（山梨大学大学院 総合研究部医学域皮膚科学講座 臨床助教） SJS/TEN 早期迅速診断キット開発とオールジャパン体制の構築	50 万円
小亀 敏明（京都大学大学院 医学研究科皮膚科学講座 特定講師） 円形脱毛症における MZB1 陽性細胞が病勢マーカーとして機能し得るかの検討	50 万円
中村 謙太（信州大学 医学部皮膚科 助教） 加齢に伴うがん関連線維芽細胞の CXCL12 と CCL5 を介した腫瘍免疫抑制の解明	50 万円
乗松 雄大（国際医療福祉大学成田病院 皮膚科 助教） 皮膚疾患におけるキャピラロスコーピー所見の検討	50 万円
原 正啓（泉中央皮膚科クリニック 院長） 皮膚科診療所における尋常性疣贅治療の疫学調査	50 万円
前田 拓哉（北海道大学病院 皮膚科 助教） ポリコナゾール誘発有棘細胞癌検体を用いた早期有棘細胞癌の層別化	50 万円
桃原 真理子（名古屋大学附属病院 皮膚科学分野 助教） Immunoprecipitation-liquid chromatography-tandem mass spectrometry を用いた自己抗原の網羅的解析	50 万円

以上